

実績確認概要書

平成 29 年 9 月 27 日

ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

| | |
|--------------|--|
| 排出削減事業名 | 木質バイオマスボイラの新設プロジェクト |
| 承認番号 | KC1148 |
| 排出削減事業者名 | 都城地区プレカット事業協同組合 |
| 排出削減共同実施事業者名 | 株式会社 FT カーボン (その他関連事業者名：なし) |
| 事業実施場所 | 都城地区プレカット事業協同組合 (住所：宮崎県都城市丸谷町 4708-1) |
| 事業の概要 | 本事業は、木質バイオマスボイラ 1 基を新設する。木質バイオマスを使用することによって、CO2 排出量を削減する。 |
| 排出削減量の計画 | 2013 年度 3,723 tCO2/年 2014 年度 3,723 tCO2/年 2015 年度 3,723 tCO2/年 2016 年度 3,723 tCO2/年 2017 年度 3,723 tCO2/年 2018 年度 3,723 tCO2/年 2019 年度 2,142 tCO2/年 (事業実施期間合計 24,480 tCO2) |
| J-クレジット認証期間 | 開始日 2013 年 4 月 1 日 終了予定日 2019 年 10 月 27 日 |
| 排出削減方法論 | 方法論番号 001-A 「ボイラーの新設」 |

2. 本実績確認の対象期間

2015 年 10 月 1 日 ～ 2017 年 3 月 31 日 (第 4 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

| | |
|-------|--|
| 排出削減量 | 7,440 t-CO ₂ (2015年10月1日～2017年3月31日) |
|-------|--|

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

| 要件 | 実績確認手続き |
|--|--|
| 排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること | 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 4回目のため該当なし。 2) 対象期間中の設備稼働確認 導入した木質バイオマスボイラは実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における給水メーターの計測結果等により確認した。 |
| 排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること | 排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) モニタリングの方法 承認排出方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認している。 2) 活動量の正確性 バイオマスボイラ給水量は、給水メーターによる計測結果を記録することにより適切に把握していることを確認した。その記録結果については、正しく実績報告書に反映されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が、Jクレジット制度モニタリング・算定規定(排出削減プロジェクト用) Ver.2.8及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。 4) 排出削減量算定及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、排出削減量の算定 |

| | |
|--------------------------------------|--|
| | <p>結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>また本事業において、バイオマス燃料の輸送等に係るリークage排出量については、排出削減量の 5%未満であることを確認している。</p> |
| <p>算定期間が 2019 年 10 月 27 日を超えないこと</p> | <p>本実績確認の対象期間は、2015 年 10 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2019 年 10 月 27 日を超えないことを確認している。</p> |

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
特になし

6. 特記事項

本モニタリング期間における再生可能エネルギー利用量について、129,541 GJ であることを確認した。

以上